

一般財団法人大阪男女いきいき財団
令和7年度 事業報告

I 自主事業

事業収入：30,833 千円

前年度：29,797 千円

1 研修・学習・啓発事業

事業名・事業内容	事業数	実 績		前年度
(1) 自主講座・イベント等事業				
① クレオ大阪	168 事業	参加者数	9,703 人	12,915 人
② 四條畷市市民総合センター・公民館	男女共同参画にかかる展示啓発事業等			
(2) 女性の活躍推進事業 ※ 女性の未来ミーティング 2026 ほか	3 事業	参加者数	174 人	30 人
(3) 法人対象事業の受託	2 事業	件数	33 件	
(4) 女性の起業支援 「クレオチャレンジカフェ」事業	1 事業	運営者	1 人	2 人
(5) 啓発事業				
① 女性に対する暴力根絶キャンペーン	「デートDV」防止ちらしの作成と配布			
② 児童虐待防止キャンペーン	ハートフルリボン（オレンジ&パープル）ピンバッジの販売、「のぼり」掲示等			
③ 第3回いいね！#ジェンダー平等 フォトメッセージコンテスト	1 事業	応募件数	129 件	122 件

※女性チャレンジ支援基金事業

2 市民活動推進事業

事業名	事業内容
(1) 地域の関係団体・機関や企業等との連携・協働事業	①Women Empowerment Summit 2025 ②竹中恵美子さん（大阪市立大学名誉教授）を偲ぶ会
(2) 国連ウィメン日本協会大阪等への支援	①国連ウィメン日本協会大阪への支援 ②DV被害者支援基金「夕陽丘基金」活動の支援

3 情報の収集・創造・発信事業

(1) インターネットでの情報発信	①ホームページの運営 ②SNS (Instagram、X、Facebook)
(2) 「財団ニュース」の発行	財団ニュースの発行

Ⅱ 指定管理事業

事業収入：570,450 千円

前年度：472,803 千円

1 クレオ大阪 中央館・子育て館・西部館・南部館・東部館の管理運営事業

○指定管理期間

中央館・子育て館・西部館・南部館・東部館：令和7年4月1日～令和17年3月31日

(1) 研修・学習・啓発事業

事業名・事業内容	実 績		前年度
① 男女共同参画セミナー事業	事業数	258	191
	参加者数	9,737 人	8,102 人
② 女性の起業支援事業 「チャレンジスタジオ」	利用人数	47 人	146 人
③ インターンシップ・職場体験事業	受入者数	136 人	150 人
④ 一時保育関連事業	保育室 利用者数	14,890 人	13,356 人

(2) 相談事業

事業名・事業内容	実 績		前年度
① 女性の悩み相談	件数	13,147 件	12,125 件
② 男性の悩み相談	件数	347 件	338 件
③ 配偶者暴力相談支援センター相談	件数	1,144 件	993 件
④ 女性チャレンジ応援拠点	件数	1,124 件	1,209 件

(3) 市民活動推進事業

事業名・事業内容	実 績		前年度
① グループ・個人等の活動・交流			
・日本語教室	利用者数	6,841 人	7,188 人
② 地域の関係団体等との連携・協働事業の実施	参加者数	8,312 人	7,530 人
③ 男女共同参画センター等とのネットワーク	参加都市数	16 都市	16 都市

(4) 情報の収集・創造・発信事業

事業名・事業内容	実 績		前年度
① クレオ大阪ホームページの運営	総アクセス数	58 万件	60 万件
② SNS Instagram／X(旧 Twitter)	フォロワー数	3,643/2,882	1,838/1,342
③ 情報・図書コーナーの運営	利用者数	21,962 人	21,528 人
④ 情報誌「クレオ」の発行	発行部数	48,000 部	48,000 部

(5) 男女共同参画に関する市民意識

目 的	男女共同参画の理解促進と固定的な性別役割分担意識の解消に向けて、教育・学習を大きなテーマとして実態と意識を調査・分析する。
調 査 手 法	インターネットによるウェブアンケート調査
調 査 対 象 者	大阪市内在住の 20 歳～59 歳の男女 1,200 人 年代ごとに均等割付
調 査 結 果	【固定的な性別役割分担意識について】 ・固定的な性別役割分担意識に賛成するのは全体ではおよそ 3 割であるが、20 代の男女で賛成の割合が高く、3.5 割～4 割近くとなっている。 ・育った家族の役割分担は、「父親は仕事、母親は家庭を中心にしていた」家族が 40.6%、「父親も母親も仕事をしており、家事は母親が中心だった」家族が 42.1%となっている。 ・「父親も母親も仕事をしており、家事は父親と母親で分担して行っていた」家族は全体では 8.8%であるが、世代別でみると男女とも 20 代が最も多く、20 代男性が 24.0%、20 代女性が 12.0%となっている。 【これまで自分を取り巻いてきた環境や経験、進路について】 ・固定的な性別役割分担意識について、影響を与えた人をあげるとすれば誰(何)か聞いたところ、母親が最も多く 39.4%、次いで父親が 26.8%となっている。 ・進路選択時に誰(何)の影響が大きかったと感じているかについて、特に女性においては男性以上に母親からの影響を受けている。高校卒業後の進路について、全体では母親の影響を挙げる人は 36.7%、父親の影響を挙げる人は 24.1%であるが、特に女性の 20 代は 47.2%、30 代は 46.6%と母親の影響を挙げる人が最も多く、比較して割合も高くなっている。 【社会人の学習活動について】 ・社会人の学習経験について、仕事のために学んだ経験がある人は男性 40.3%、女性 32.9%となっている。また、仕事に関連した学習の充実のため必要なこととして、男女とも「学習が仕事やキャリアに活かせること」(第 1 位)、「経済的な支援があること」(第 2 位)を挙げているが、第 3 位は男性が「仕事に係る負担が少なくなること」、女性が「参加しやすい時間帯に学習する機会や教室等が開催されること」となり、回答が分かれている。

■ 研究報告・発表、調査協力等

- ・ 8 月 13 日(水) 関西学院千里国際高等部 探究学習インタビュー
テーマ：ジェンダーに基づく暴力について
- ・ 3 月 7 日(土) 地域資源開発経営学会

(6) 子育て支援事業

事業名・事業内容	実 績		前年度
① 子育て支援に関する情報の収集、提供	おおさか子育てネット アクセス数	27.7 万件	41.4 万件
② 子育て支援に関する講座等	のべ受講者数	3,001 人	4,046 人
③ ファミリーサポートセンター本部機能 の運営	24 支部への指導・助言		
④ 子育て相談	件数	4,628 件	4,922 件

(7) 施設の管理運営事業

【年間稼働率】(%)

	7 年度	6 年度
中央館	68.3	65.4
西部館	61.9	60.7
南部館	54.1	53.1
東部館	58.8	57.9

※控室、ギャラリーを除く

【年間利用者数】(人)

	7 年度	6 年度
中央館	337,550	368,976
子育て館	33,506	32,066
西部館	48,578	49,335
南部館	136,147	104,882
東部館	98,101	118,667

※控室、ギャラリーを含む

2 四條畷市市民総合センター・公民館の管理運営事業

	7 年度	6 年度
市民総合センター稼働率 (%)	59.0	59.8
利用者数 (人)	31,879	32,664

Ⅲ 受託事業

事業収入：4,987 千円

前年度：23,306 千円

1 大阪市地域女性団体協議会事務局業務

(大阪市地域女性団体協議会)

内 容	① 事業運営に関する事務、ホームページの運営 ② 総会、女性大会の開催運営事務(各年 1 回) ③ 理事会(6 回)、役員会(10 回)の開催運営事務 ほか
-----	--

2 大阪市男女共同参画普及啓発事業

(大阪市市民局)

内 容	「男女共同参画」「デートDV」「ワーク・ライフ・バランス」の3テーマで、各種の啓発事業を行った。 (1) 各区での啓発 24 区で啓発展示を行った。生野区、城東区、阿倍野区、天王寺区、住吉区の5区では、アンケートワークショップを行った。 回答数：148 件 (2) 全国的に実施される取組期間における啓発の企画・実施 ①「男女共同参画週間」の期間における啓発 ②「女性に対する暴力をなくす運動」の期間における啓発 (3) 市民の意識を反映した啓発物の作成 ①「啓発用ポスター」の作成 SDGs トレイン(阪急・阪神電車内)でワーク・ライフ・バランスをテーマとしたポスターを掲示した。 ②「啓発動画」の作成 1 分動画と 5 秒動画を制作した。 (4) 教育機関等と連携した啓発 ①大阪経済大学「ジェンダー論」「キャリアデザイン」の講義内で出前授業及びウェブアンケートを実施した。 テーマ：相談現場から見えてくる男女共同参画、デートDV ②市民参加型啓発として、公開講座「露の団姫 落語・講演会」を行った。 テーマ：「いい恋 いい愛と生きる 幸せの心得」 参加者：170 人
-----	---

3 ボランティア論【実習】(大阪経済大学)

内 容	大阪経済大学のボランティア論の実習を指定管理施設(クレオ大阪中央館・子育て館)で計2日間指導を行った。 履修学生：13 人
-----	--

4 フェリシモももっとずっときっと基金活用事業

「女性防災リーダーが拓く安全で安心な未来プロジェクト」

内容	休眠預金活用事業の女性防災リーダー養成事業の後継として、第3期講座を実施した。 (1) 3期講座 実施期間：5月9日～9月26日 全10回 主な内容： 講義：防災の基礎知識、ジェンダー平等、リーダーシップ、ファシリテーション 演習：フィールドワーク（神戸）、避難所開設実習 修了者：23人 (2) フォローアップ研修 「防災×女性リーダー」で防災力向上をテーマに講演会・シンポジウムを実施した。 参加者：48人 (3) 大阪市危機管理室との連携事業 同室主催の出張型講座の企画・実施に協力し、修了者を講師として派遣した。
----	--